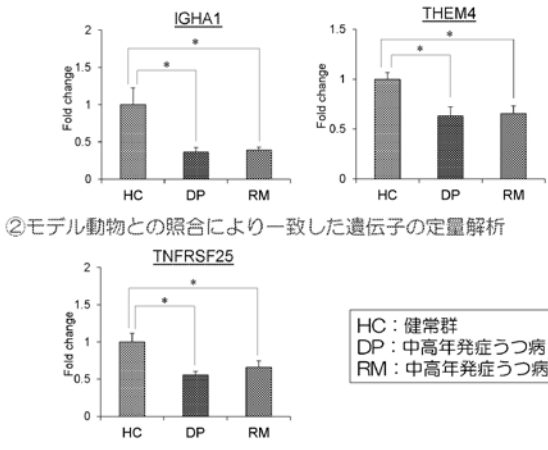
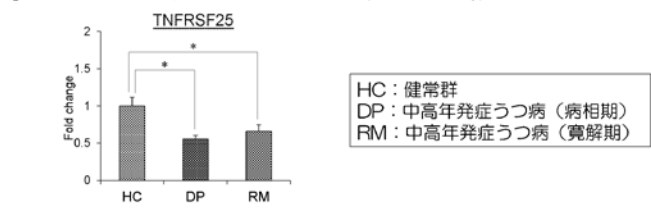
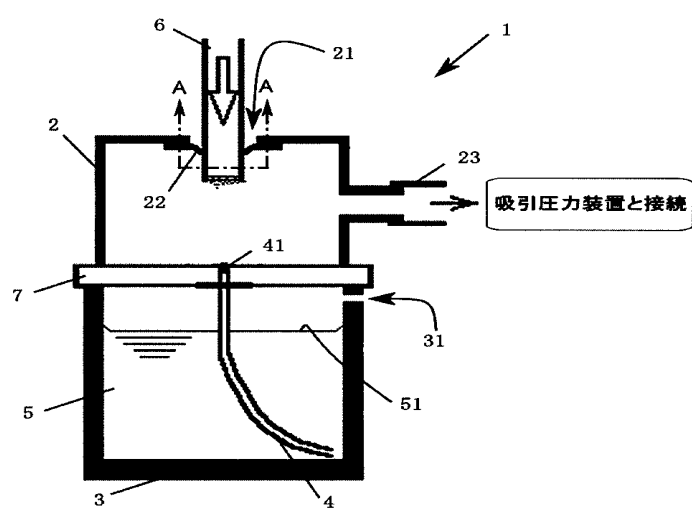


発明の名称	バイオマーカーによるうつ病の検査方法及び検査キット(特開 2017-000063)	
学内発明者	福田 正人(医学系研究科) 三國 雅彦(元医学系研究科) 宮田 茂雄(医学系研究科)	
技術分野	医療・検査方法、医薬品スクリーニング方法	IP26-059
発明の概要	客観的なうつ病診断のための検査方法、及び当該検査に使用する検査用キットを提供するために、うつ病患者群およびうつ病寛解群において有意に発現変動した遺伝子を探索し、IGHA1、THEM4及びTNFRSF25等の遺伝子が、抑うつ症状の重症度に左右されずにうつ病発症の有無を客観的に判定できる有用なマーカーとなることを見出した。	
説明図	<p>① 有意差上位遺伝子の定量解析</p>  <p>② モデル動物との照合により一致した遺伝子の定量解析</p>  <p>HC: 健常群 DP: 中高年発症うつ病(病相期) RM: 中高年発症うつ病(寛解期)</p>	IGHA1、THEM4及びTNFRSF25のリアルタイムPCR解析結果を左図に示す。これら遺伝子は、健常者(HC)と比べて、うつ病の病相期(DP)及び寛解期(RM)において有意に減少したことを示す。よって、これら遺伝子はリアルタイム定量PCRにおいて発現変動する、うつ病反映性に優れたマーカーであり、さらにその他の18種のマーカーを組み合わせることにより、高い精度でうつ病の検査を行うことができる。
ポイント	本発明は、IGHA1、THEM4及びTNFRSF25がうつ病検査用バイオマーカーとして提供される。また、本発明の方法により、抑うつ症状の重症度に左右されずに、客観的な指標に基づいて、うつ病の診断をすることが可能となる。	

発明の名称	内視鏡手術器具の洗浄装置(特許第 4300294 号)	
学内発明者	浅尾 高行(未来先端研究機構)	
技術分野	医療(手術用器具の洗浄装置)	IP16-055
発明の概要	手術中および手術前後を問わず簡単かつ適切に、しかも迅速に内視鏡手術器具をクリアアップすることができる、新しい内視鏡手術器具の洗浄装置。	
説明図		<p>本発明の内視鏡手術器具の洗浄装置の一実施形態を例示した断面図。気密保持シール膜22が具備されている挿入孔21と外部装置と接続するためのコネクタ23とを備えた低圧気密チャンバー2と、ノズル41を有するノズルチューブ4がノズル41を上方向に向けて位置して内部に配設されている洗浄液保持タンク3を含む内視鏡手術器具の洗浄装置。</p>
ポイント	内視鏡手術での光学系ヘッドが肛門や尿道などの体孔や血管へ挿入されスコープ先端光学系が「固液」界面を形成する場合だけでなく、体腔内に挿入され「固気」界面を形成する場合でも内視鏡手術器具をクリアアップすることができ、視野悪化による施術者のストレスを緩和させることもできる。	